



8

2013 AUGUST

あなたと町を結ぶ広報

なみえ



ホームページやフェイスブックは、
携帯からもご覧いただけます。
QRコードをご利用ください。

平成25年8月 No.571

毎月1回1日発行

- ② なみえの“しゃべり場”
- ③ 浪江町復興支援員・選挙管理委員
- ④ 保健だより
- ⑥ みんなでともに乗り越えよう
- ⑨ まちの話題
- ⑫ 情報びっくあっぷ
- ⑮ みんなの図書館
- ⑰ 浪江のこころ通信
- ⑳ 連絡先一覧

今月の表紙

熱戦！気持ちをひとつに（7月13日 町長杯家庭婦人バレーボール大会）



山形県の復興支援員



小松原慶子
(山形市)



渡邊 健太
(山形市)



佐藤 眞敏
(請戸)

県外に避難している浪江町民の皆さんをつなぎ、それぞれの復興をサポートしていく「浪江町復興支援員」を昨年の山形県、千葉県に続き新潟県、埼玉県、京都府に配置しました。
今後、それぞれの府県を中心にお宅を訪問したり、交流会を開催したり、皆さんに寄り添わせていきたきながらそれぞれの復興のお手伝いをさせていただければと思っています。よろしくお願いします。

浪江町復興支援員が活動しています

新潟県の復興支援員



渡部 亜紀
(新潟市)



佐藤亜希子
(藤橋)

千葉県の復興支援員



井戸川定義
(東京都)



井戸川駿伍
(幾世橋)



大内 恵子
(千葉市)

京都府の復興支援員



土田 映美
(京都市)



富川 牧江
(川添)

浪江町復興支援員 コーディネーター



石上 清
(川添)

埼玉県の復興支援員



大柿 光史
(権現堂)



石澤 修英
(権現堂)



佐藤 淳一
(加倉)

☎ 生活支援課避難生活支援係 ☎ 0243-62-0305

よろしくお願いします 選挙管理委員

6月定例議会での選挙の結果、次の4名の方が選挙管理委員に選ばれました。
さらに、6月22日に行われた選挙管理委員会において、委員長および職務代理者が決定しました。
任期は、平成25年6月22日から平成29年6月21日までです。



委員長
青田 尚樹さん
(加倉)



委員長職務代理者
本田彰三郎さん
(中浜)



委員
高野 京子さん
(高瀬)



委員
北 博子さん
(棚塩)

☎ 浪江町選挙管理委員会 ☎ 0243-62-0128

なみえの“しゃべり場”

～集まれ！浪江のなかま～ 開催中

同じ浪江町民同士、みんなで集い、語り合う場、共感し合う場、理解し合う場、励まし合う場、笑い合う場、さまざまな場として“しゃべり場”を開催しています。
各地の交流会の様子をお知らせします。

6月21日(金)
いわきエリア (いわき市)
●会場：いわき市総合健康福祉センター
●参加人数：約15名

浪江出身の歌手・水原ゆきさんのミニコンサートや日本アロマ環境協会の協力であロマハンドマッサージ等を行いました。

水原さんが歌う懐かしいメロディを一緒に口ずさんだり、涙を浮かべる参加者もいらっしゃいました。

また、アロマハンドマッサージは「リラックスする」と幅広い年齢層の方に好評でした。



7月8日(月)
県中エリア (郡山市)
●会場：ピックパレットふくしま
●参加人数：約130名

郡山・須賀川両自治会が発足してから初めての交流会でした。
午前中に副町長による町の現状報告を行いました。また、まちづくりNPO新町なみえによるなみえ焼そば振る舞い、午後は大堀相馬焼の絵付け体験・長崎県からのボランティア南輝久さんのCDコンサートを行いました。
「副町長の話がわかりやすかった」「懐かしい人に会えた」「同じ地区の人が少なくて残念」といったさまざまな感想をいただきました。



お知らせ

“しゃべり場”開催予定情報は、町広報誌、フोटビジョン（電子掲示板）などにも随時掲載しますので、ぜひご覧ください。
各会場とも、どなたでも参加できます。皆さまのご参加をお待ちしています！

主催 まちづくりNPO新町なみえ、浪江町
なみえの“しゃべり場”に関するお問い合わせ ☎ 生活支援課避難生活支援係 ☎ 0243-62-0305

風しん予防接種 費用助成のお知らせ

町では、赤ちゃんの先天性風しん症候群を予防するため、ワクチン接種を希望する対象者の方に風しん予防接種費用を助成します。

▷対象者

浪江町に住所が有る方で

①妊娠を予定または希望している女性

＊妊娠中の方は接種できません。妊娠の可能性のない月経中に接種することをお勧めします。

②妊娠している女性の夫

ただし、①②ともに今までに風しんにかかったことが明らかな方や風しんワクチン（麻しん風しん混合ワクチンを含む）を2回接種した方、以前の妊娠時に抗体があることを確認している方は除きます。

▷助成実施期間

4月1日から平成26年3月31日まで

※8月1日から受付開始

▷助成金額

麻しん風しん混合ワクチン、風しんワクチン

いずれか **1回の接種費用全額助成**

▷助成方法

接種を受けた医療機関に一旦全額をお支払いいただいた後、「**予防接種費用助成申請（請求）書**」に次の書類を添えてご請求ください。

<必要書類>

- 予防接種費用助成申請（請求）書
※必ず押印してください。
- 領収書（原本）
- 予診票（写し可）または、予防接種済証明書
- 対象者②の方は、妊婦の母子健康手帳（表紙の部分）の写し

＊予防接種費用助成申請（請求）書は、役場二本松事務所、各出張所窓口にあります。郵送ご希望の方はご連絡ください。

また、町ホームページからもダウンロードできます。

▷注意事項

接種後2カ月は妊娠を避ける必要があります。



6月27日 いわき市



6月21日 福島市



6月21日 二本松市

会津地域「親子交流会」

会津地域に避難している3歳までのお子さんと保護者を対象に交流会が開催されます。

就学前のお子さんをもつ保護者のみの参加も歓迎しています。

▷日時

8月28日(水)、9月25日(水)、11月13日(水)

10時～12時

▷場所

会津若松市 河東保健センター

▷内容

親子遊び、工作、保護者向けプログラム、育児や生活に関する情報交換、個別相談など

▷持参するもの

母子健康手帳、ベビーマッサージ希望の方はバスタオル、飲み物、オムツ、ミルク、着替えなど必要なもの

▷申込方法

開催日の1週間前までに電話でお申し込みください。(30名まで)

申・問 会津保健福祉事務所健康増進課
TEL 0242-29-5508

「みんなで元気！」ロコモ予防教室

「みんなで元気！」を合言葉に、福島市・郡山市・二本松市・いわき市でロコモ予防教室を実施し、ストレッチやロコモ体操、ダンベル体操など簡単な体操で、みんなで楽しく体を動かしています。

近くにいるお友だちを誘って、みんなで一緒に体操しませんか。参加希望の方は、健康保険課健康係にお問い合わせください。

「ロコモ」ってなあに？

「ロコモティブシンドローム」を通称「ロコモ」といいます。

ロコモは、運動機能が衰え、生活の中の自立度が低下し、要介護の危険性が高まる状態のことで、メタボリックシンドロームに次ぐ第二の国民病といわれています。

平成25年度 浪江町総合健診

ご自身の健康をチェックする大切な健診です。忘れずに受診しましょう。

＊町の総合健診を受診すると『県民健康管理調査「健康診査」』を同時に実施したことになります。

▷**対象者** 浪江町に住所の有る19歳以上（H26.3.31現在）の方

＊対象者全員に案内が届きます。

▷受診方法

【県内に避難している方】

日程表をご確認いただき、都合のよい日時・場所を受診してください。

【県外に避難している方】

県外の委託医療機関一覧をご確認いただき、委託されているお近くの医療機関を受診してください。

▷持参するもの（県内）

- 総合健診録
※問診項目は必ず記入してください。
- 健康保険証
- 大腸がん検診検査容器
- 尿検査容器
- 県民健康管理調査「健康診査」の承諾書
※住所・氏名を記入してください。

▷料 金 無料

【注意事項】

- 各会場へ直接問い合わせはしないようお願いいたします。
- 各市町村の会場をお借りして実施するため、受付時間前に会場を開けることはできません。早めに来た方は職員が会場を開けるまで、車の中でお待ちください。
- 大腸がん検診の検査容器は昨年受診した方へのみ同封しています。同封されていない受診希望の方は、お問い合わせください。
- 大腸がん検診の検査容器を使用しなかった場合は、ご返却ください。



問 健康保険課健康係 TEL 0243-62-0168

■総合健診日程表

月 日	会 場	受付時間
9月12日(木)	南相馬市 万葉ふれあいセンター	9時～11時
9月24日(火)	郡山市 福島県農業総合センター	9時30分～11時
9月25日(水)	郡山市 福島県農業総合センター	9時30分～11時
9月30日(月)	いわき市 平体育館	9時～11時
10月3日(木)	会津若松市 会津若松市河東保健センター	8時30分～11時
10月4日(金)	福島市 福島市国体記念体育館	8時～11時
10月5日(土)	南相馬市 万葉ふれあいセンター	9時～11時
10月6日(日)	二本松市 浪江町役場二本松事務所	8時～11時
10月7日(月)	福島市 福島市国体記念体育館	8時～11時
10月8日(火)	本宮市 本宮市白沢体育館	8時～11時
10月9日(水)	福島市 福島市国体記念体育館	8時～11時
10月10日(木)	本宮市 本宮市白沢体育館	8時～11時
10月11日(金)	いわき市 平体育館	9時～11時
10月19日(土)	二本松市 浪江町役場二本松事務所	8時～11時
10月20日(日)	二本松市 浪江町役場二本松事務所	8時～11時
11月5日(火)	桑折町 桑折町保健福祉センター	8時30分～11時
11月6日(水)	福島市 福島市国体記念体育館	8時～11時
11月7日(木)	二本松市 安達公民館	8時30分～11時
11月8日(金)	白河市 白河市国体記念体育館	8時30分～11時

■検査内容

検診名	対象者	内 容
特定健康診査 健康診査	19歳以上男女	○身体測定（身長・体重・BMI・腹囲） ○尿検査（蛋白・糖・潜血） ○血圧測定 ○血液検査（脂質検査・肝機能検査・血糖検査・貧血検査） ○心電図検査 ○眼底検査
胃がん検診	30歳以上男女	バリウムX線撮影
大腸がん検診	30歳以上男女	便潜血反応検査（検便2日分）
前立腺がん 検診	50歳以上男性	血液検査（PSA検査）
肺がん 結核検診	40歳以上男女	胸部X線間接撮影

広げよう ママ友の輪

リフレッシュママ in 郡山

6月20日・27日、郡山市総合福祉センターでリフレッシュママ教室を開催しました。

郡山市で子育てをしている浪江町のママとお子さんにご参加いただき、親子遊びやママ同士のおしゃべりをして、心も体もリフレッシュしました。

郡山市といわき市のリフレッシュママ教室は「かもめっ子クラブ」に名称を変更し、南相馬市でも開催します。

「かもめっ子クラブ」に参加して、ママ友の輪を広げませんか。

8月のかもめっ子クラブ

▷日時 8月23日(金) 10時～11時30分

▷場所 中央台公民館（いわき市中央台飯野四丁目5番地の1）



食品の放射能簡易分析結果

町では、食品中の放射性物質を測る機器を配備し、さまざまな食品等の安全安心のため放射性物質測定を実施しています。

■6月の分析結果

区 分	検体数	検出された検体数	品 名
野 菜	22	1	あしたば
山菜、きのこ類	9	1	たけのこ、 ふき
米（新米）	5	0	
魚	0	0	
その他	10	1	梅
合 計	46	3	

食品衛生法における基準値（セシウム134、セシウム137の合算値）
●一般食品……100ベクレル/Kg ●飲用水………10ベクレル/Kg
●牛乳………50ベクレル/Kg ●乳幼児食品…50ベクレル/Kg

※浪江町内の食品は摂取できないため測定しておりません。

食品の簡易測定は、随時受付しています。ご希望の方は、お問い合わせください。

☎ 上竹倉庫事務所 ☎ 0243-23-4774

避難区域内の水の汚染状況検査結果

町で実施した避難区域内の水等の汚染状況検査結果をお知らせします。

区 分	検査月日	採 取 地	検査結果
井 戸 水	6月17日	権 現 堂	不検出
		川 添	不検出
		室 原	不検出
河川流水	6月17日	やな場付近	不検出
底 質	6月14日	やな場付近	6,590ベクレル/kg
海 水	6月18日	請 戸 漁 港	不検出

※底質については、河川増水（降雨）のため低減した可能性がある。

☎ 生活支援課生活安全係 ☎ 0243-62-0151

避難区域内のゲルマニウム半導体検査結果

町が福島県に依頼し実施した避難区域内の取水場のゲルマニウム半導体検査結果をお知らせします。

区 分	採取月日	採 取 地	検査結果
原 水	6月18日	小野田取水場	不検出
		荻野取水場	不検出
		谷津田取水場	不検出
		大堀取水場	不検出

ゲルマニウム半導体検出器は、ゲルマニウムが持つ半導体（温度などの条件変化によって電気を通す率が変化する物質のこと）として性質を利用して、水や食品などに含まれる微量の放射線（γ線）を測定し、放射性物質の種類やその量を測定する分析機器です。

☎ 復旧事業課上下水道係 ☎ 0240-34-0234

町内パトロール出動式

6月30日、役場本庁舎で浪江町消防団による町内パトロール出動式が行われました。

消防団の活動再開は、震災から約2年3カ月ぶり。今後は、毎週日曜日に町内の防犯・防火、町民の安心安全のため巡回活動を続けます。



☎ 帰町準備室危機防災係 ☎ 0240-34-0229

不法投棄は絶対にやめましょう

現在、浪江町内では可燃ごみのみ収集しています。不燃ごみ、粗大ごみ、家電製品等については、ご自宅内での保管をお願いします。※収集の目途が経ちましたら、改めてお知らせします。

ごみを不当に捨てることは、法律で固く禁じられています。不法投棄は絶対にやめましょう。



町内某所に不法投棄されていたごみ

☎ ふるさと再生課廃棄物対策係 ☎ 0243-62-0152

みんなで ともに 乗り越えよう

「なみえ交流館」開所式

7月6日、いわき市常磐上矢田町の現地で「なみえ交流館」開所式がなみえ絆会によって行われました。

交流館には「なみえ絆いわき会」が常駐し、町民同士の情報交換や憩いの場、健康教室などの交流の場として活用します。お気軽にお立ち寄りください。

■開館時間：9時30分～16時

■休 館 日：毎週月曜日



右：大波大久会長

☎ いわき出張所（生活支援課） ☎ 0246-24-0020
☎ 生活支援課避難生活支援係 ☎ 0243-62-0305

浪江町を復興していくためには、町民の生活再建・健康管理、避難指示区域の見直し、インフラの復旧、賠償問題、絆の維持など多くの課題があります。

その中で、町がどのような取り組みをしているのかをお知らせします。

「弘前大学浪江町復興支援室」開所式

7月1日、役場大会議室で弘前大学浪江町復興支援室開所式が行われました。

大学からは、これまでに放射線による健康相談や健康手帳作成へのアドバイスなど、町民の安心・安全に関する支援をいただいています。

現在は、染色体解析や放射線による野生動物への生体影響調査（東北大学等との共同研究）などの支援活動も実施しています。

今後は、「弘前大学浪江町復興支援室」が役場内に開所されたことにより、さらに放射線に関する町民の安心・安全に関する支援活動に力を入れていきます。



左：弘前大学佐藤敬学長

☎ 健康保険課放射線健康管理係 ☎ 0243-62-0173

町内で営業を再開しました

◆浪江町内で給油ができるようになりました◆

（株）叶屋の権現堂のガソリンスタンドが営業を再開しました。

■営業日 月～土曜日

※祝祭日、年末年始の営業は現在のところ未定。

なお、川添のガソリンスタンドは現在準備中で、再開時には改めてお知らせします。

大字権現堂字新町80 ☎ 0240-34-6111



☎ 産業・賠償対策課産業再生係 ☎ 0243-62-0167

仮設住宅の皆さんに 花を贈ろう

6月25日、浪江小学校の児童が二本松市内の5カ所の仮設住宅に花を贈りました。

花は、児童たちが5月から毎日水をやり、大切に育ててきました。

プランターには「えがおでいてね」「元気に一日がんばろう」などのメッセージが添えられています。

秋にはまた、花を贈る予定ですので、仮設住宅の皆さん、楽しみに待っていてくださいね。



みんなでフランス料理を 楽しみました

7月7日、本宮市高木仮設住宅で、ラ・キャラバン・ボン・アペティ（フランス人料理炊き出し隊：在日フランス人シェフらによるボランティア組織）主催による「フランス料理の夕べ」が開催されました。

会場には、約200名の町民が集まり、本場のフランス料理とスプリームさんによるシャンソンステージを楽しみました。各テーブルには満面の笑みと笑い声、そしてシャンソンに合わせて歌声が響き、楽しい時が流れました。



がんばれ！
なみえ

まちの話題

皆さまの身の回りにある楽しい話題、変わった話題などの情報を募集しています。
TEL 0243-62-4731

まんべんなく 声をかけあおう作戦

二本松警察署と浪江地区防犯指導隊・なみえ安全安心パトロール隊は、毎月11日を「仮設住宅の日」として、仮設住宅の立ち寄りを強化しています。

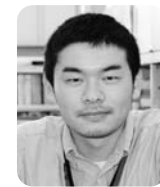
戸別訪問活動に先立ち、6月11日、町から蛍光ベストと帽子20名分を全隊員に贈りました。



役場本庁舎 町の復旧・帰町へ向けて取り組んでいます

現在、帰町準備室および復旧事業課は、役場二本松事務所から本庁舎へ移転し、19名の職員が町内のインフラ復旧・帰町を本格的に進めるため、業務に取り組んでいます。

本庁舎勤務となった職員が現場で感じていること、課題、意気込みや思いをお伝えします。



●危機防災係 吉田 薫
（本年度新規採用職員）
大学卒業後、両親のいる仮設住宅に身を寄せていたところ、町

【課題】より安全で過ごしやすいまちづくりを目指し、仮置き場や焼却施設の建設、町内の除染については早期実現することが重要な課題であると感じています。
【町民の皆さまへ】町内への立ち入りの際は、時間に余裕をもって、安全運転でお越しください。なにかお困りの際は、お気軽にお尋ねください。



●危機防災係 鴨川 永好係長
4月の区域見直し以降、町民や事業者の出入りが多くなっています。

帰町準備室

問 帰町準備室危機防災係
TEL 0240-34-0229



●建設土木係 三瓶 徳久係長
二本松事務所から本庁舎に戻って来ることで、

復旧事業課

問 復旧事業課建設土木係 TEL 0240-34-0244
問 復旧事業課上下水道係 TEL 0240-34-0234

が配布しているフォトリビジョンの求人広告を見て、「地元のため何かできないか」と思い、昨年度、町の臨時職員に応募しました。
業務内容は、災害対策課で主に公益立入りの手続きを担当していました。
その後、職員採用試験を受け、4月からは新たな業務に四苦八苦している状況ですが、スムーズに遂行できるよう、業務内容への理解を深めていきたいです。
【意気込み】「若い方々に帰町してほしい。」町民行事を復活させたい。」と思っています。
帰町には時間がかかりますが、貢献できればと思っています。

●上下水道係 鈴木 智和
二本松事務所から本庁舎へ移転したことのメリットは、やはり現場と近くなった点です。現場に出やすく、作業も効率的に行えるようになりました。一日のうち、半日は現場に出て、半日はデスクワークをしています。
【課題】私は上水道の担当ですが、直近の課題は防火用水の確保です。



●上下水道係 鈴木 智和
二本松事務所から本庁舎へ移転したことのメリットは、やはり現場と近くなった点です。

【町民の皆さまへ】日々業務に取り組んでいます。復旧はまだこれからです。一時帰宅等で町内へ立ち入る際は、時間に余裕をもって、安全運転をお願いいたします。
また、工事業者も避難により人員確保が難しいと聞いています。建築資材についても需要が供給を上回っている状態です。これから、県でも復旧事業が進みますが、その際にこうした点がネックとならぬよう、国を挙げての対策を講じて欲しいです。

現場での時間が多く取れますので、腰を据えて業務に取り組みたいと考えています。
町道の現状については、津波被災地以外で17箇所の補修工事が必要です。そのなかで、低線量地域の4箇所については昨年度に測量、設計を行い、本年5月に国の実地調査が終わっています。
【課題】今後、施工の際に発生する廃棄物の仮置き場を確保することが課題です。
また、工事業者も避難により人員確保が難しいと聞いています。建築資材についても需要が供給を上回っている状態です。これから、県でも復旧事業が進みますが、その際にこうした点がネックとならぬよう、国を挙げての対策を講じて欲しいです。

今年度は2次調査として、配管にカメラを入れて破損状況を調査し、国の実地調査を受ける予定です。26年度中の復旧工事施工を目指して取り組んでいます。また、町内の下水処理場についても震災以降、内部設備の調査ができていない状況にあるので、今年度中に実施予定です。
【意気込み・今後の取り組み】下水道は事業者の事業再開にも絶対必要なので、すぐにでも復旧させたいと思っていますが、規模が大きすぎて全体的に取り組むことが難しい状況です。一括契約とは違い、段階的に事業を行うことでコストが増えてしまう部分もありますが、出来ることから取り組んでいきます。



●上下水道係 佐藤 篤
下水道については、昨年度中にマンホールを開けて状況調査を

役場周辺の30箇所は復旧したことを確認しています。その他の箇所についてはこれから調査を行い、4月に区域見直しが行われ、町民の方が立ち入ることが出来る状況の中で、できる限り早く常時使用可能な状態にすることが、喫緊の課題です。
【意気込み・今後の取り組み】帰町した時に安心して飲める水を提供できるようにすること。
【町民の皆さまへ】膨大な作業量が短期目標が設定しにくい状況ではありますが、一日も早い帰町のために取り組んでいます。

アタック！負けないぞ！

7月13日、本宮市白沢体育館で「浪江町長杯家庭婦人バレーボール大会」が開催されました。

町長は「交流を深めて、ゆったりとにこやかに、楽しくプレーして欲しい。」と述べ、バレーボール愛好者ら5チームによる熱戦が繰り広げられました。

結果は次のとおりです。(敬称略)

★優勝 きよはし ★準優勝 浪江クラブ



感謝の気持ちと事故防止を祈って

7月16日、小田部仮設住宅婦人部会のメンバー11名が交通安全啓発グッズとして、手作りのストラップ155個を郡山北警察署本宮分庁舎に贈りました。

これは、7月16日から25日まで行われる夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動に合わせて贈ったものです。

ストラップは、事故防止と帽子をかけて麦わら帽子をモチーフにリリアンで作りました。



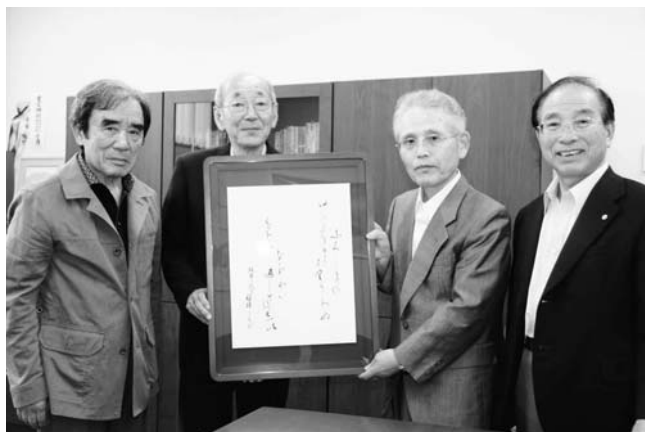
朝日歌壇入選歌「書作品」を町へ寄贈

「ふくしまの／何に寄り添う／寄り添わぬ／
もとの生業／返してほしい」

二本松市の安田政幸さんが歌を詠み、書家の吉川祥瑞さんが歌を書にした作品を町へ寄贈いただきました。

この短歌は、4月22日、朝日新聞の歌壇で第二首に選ばれたものです。

短歌には、安田さんの「町民の人はもちろん、県内のみんなが同じ思い。」との気持ちが込められており、歌から勇気をいただきました。ありがとうございました。



なみえ町新聞作り ～ふるさとのために活躍する人々～

7月5日、浪江小学校のふるさとなみえ科の授業で「なみえ町新聞作り」が行われました。

子ども達は、浪江焼麺太国の橘弦一郎さんと前司昭博さんからB-1グランプリ出場のきっかけや、震災後の「なみえ焼そばによって浪江町という名を守り、支える活動をしたい。」というお話を真剣に聞き、それから実演された焼そば作りに目を輝かせていました。

この日は授業参観のため、家族も一緒になみえ焼そばをおいしくいただいたあと、チャレンジタイムのグループでなみえ焼そばをテーマにした新聞のタイトルを話し合いました。



左から 前司昭博さん、橘 弦一郎さん



ありがとうございました



京都府南丹市の日吉ダムマラソン実行委員会様から、町へ義援金をいただきました。

昨年は、浪江の子どもたちをマラソンに招待していただきました。



小森谷凡也様・有志一同様・㈱工コ王住建様から、町へ義援金をいただきました。



埼玉県飯能市の桜井利男様から、町へ蕎麦をいただきました。

なお、桜井様からは5回（個人3回、桜木会代表として2回）義援金をいただいています。

(写真左：本宮市石上第二仮設遠藤自治会長)

問合せ
申込み
電話
ファクス
メールアドレス
ホームページアドレス
フリーダイヤル

仮設津島診療所のお医者さん

問 仮設津島診療所 Tel 0243-24-1431

■診療時間		午前：9時～12時 午後：14時～16時
8月1日(木)	関根・今村・手塚(本庁舎)	
2日(金)	関根・玉井・手塚	
5日(月)	関根・佐川(午後)・手塚	
6日(火)	関根・佐藤・手塚	
7日(水)	関根・西・手塚	
8日(木)	関根(本庁舎)・佐川(午後)・手塚	
9日(金)	関根・玉井・手塚	
12日(月)	関根・佐川(午後)・手塚	
13日(火)	関根・手塚	
19日(月)	関根・佐川(午後)・手塚	
20日(火)	佐藤・手塚	
21日(水)	関根・西・手塚	
22日(木)	関根・今村・手塚(本庁舎)	
23日(金)	関根・玉井・手塚	
26日(月)	関根・佐川(午後)・手塚	
27日(火)	関根・佐藤・手塚	
28日(水)	関根・西・手塚	
29日(木)	今村・手塚	
30日(金)	玉井・手塚	
		(都合により変更あり)

平成26年度
双葉地方広域市町村
圏組合職員採用候補
者試験

- ▽試験職種 消防
- ▽採用予定人員 14名程度
- ▽職務内容 消防業務
- ▽受験資格
昭和59年4月2日から平成8年4月1日までに生まれた方で、自動車運転免許(普通自動車以上「AT限定免許を除く」)取得予定者。
※学歴は問いません。
- 《身体の基準》
 - 胸囲 身長のおおむね2分の1以上であること。

- 視力 両眼とも矯正視力が0・7以上であること。
 - 聴力 正常であること。
 - その他 精神および身体に障がいがないこと。結核性疾患、その他感染性疾患がないこと。
- ※日本国籍を有しない方、成年被後見人または被保佐人、禁錮以上の刑に処せられ、その執行中の方などは受験資格がありません。
- ▽試験方法
高校卒業程度で次により行います。
- (1) 第1次試験
①教養試験 ②適性検査
- (2) 第2次試験
第1次試験合格者に対して、

- 体力測定、小論文、個別面接(指定した様式による健康診断書を持参してください)。
- ▽第1次試験日
9月8日(日) 9時～受付
- ▽第1次試験会場
広野町サッカー支援センター内(広野町大字下北迫字二ツ沼44-15)
- ▽受付期間
8月15日(木)まで
8時30分～17時15分
※土日祝日を除く
- ※受験手続き等詳しくはお問い合わせください。
- 問 双葉地方広域市町村圏組合事務局総務課
Tel 0240-27-4665

町内モニタリングポスト測定結果

原子力規制委員会で町内40箇所に設置したモニタリングポストの測定結果をお知らせします。なお、測定結果情報はホームページで閲覧できます。

*原子力規制委員会放射線モニタリング情報

Url <http://radioactivity.nsr.go.jp/>

測定地点			7/1			7/15		
津島小学校			3.8			3.6		
津島中学校			1.8			1.7		
浪江高等学校津島校			8.4			8.2		
浪江(中央公園付近)			0.7			0.7		
幾世橋(幾世橋小学校付近)			0.2			0.2		
浪江ひまわり荘			2.5			2.4		
手七郎集会所			8.3			8.0		
大柿簡易郵便局			10.9			10.5		
家老集会所			7.0			6.9		
赤宇木集会所			8.3			8.2		
大堀小学校			3.1			3.1		
苅野小学校			3.8			3.7		
浪江町役場			0.1			0.1		
小丸多目的集会所			21.2			20.7		
測定地点			7/1			7/15		
津島活性化センター			0.9			0.8		
昼曽根屯所			11.5			11.1		
新町ふれあい広場			0.5			0.5		
川添葉山会館			3.0			3.0		
樋渡牛渡集会所			3.0			3.0		
高瀬多目的集会所			0.6			0.6		
幾世橋集会所			0.2			0.2		
浪江町公民館幾世橋分館			0.1			0.1		
北棚塩総合集会所			0.1			0.1		
棚塩集会所			0.1			0.1		
大字請戸集会所			0.07			0.07		
中上ノ原町営住宅			2.7			2.8		
井手多目的研修センター			5.7			5.6		
田尻集会所			1.3			1.3		
測定地点			7/1			7/15		
小野田集会所			2.1			2.1		
酒井集会所			2.8			2.8		
室原公民館			3.9			4.0		
立野中多目的集会所			4.2			4.1		
苅宿公民館			2.2			2.1		
加倉集会所			2.3			2.3		
藤橋消防屯所			0.6			0.6		
羽附集会所			0.7			0.6		
大字津島集会所			1.9			1.9		
南下コミュニティセンター			5.2			5.1		
葛久保集会所			8.4			8.2		
陶芸の杜おおほり			11.9			11.6		

浪江町長杯
ゲートボール大会開催

ゲートボールで元氣を取り戻し、交流を深めましょう。

▽日時

9月26日(木)

●受付 9時～

●開会式 9時15分～

●競技開始 9時30分～

▽場所

二本松市郭内
屋内ゲートボール場

▽参加人数

30名
(定員になり次第締め切ります。)

▽参加資格

浪江町に在住していたゲートボール愛好者

▽申込方法

電話でお申し込みください。

▽締切日

9月10日(火)

▽主催

浪江町、浪江町教育委員会、浪江町中央公民館

▽主管

浪江町ゲートボール協会

申・問

浪江町ゲートボール協会
会長 愛沢 崇

TEL

〒964-0881

二本松市藤之前66-4

グランソレイユKⅡ201号

TEL

090-8256-5809

申・問

教育委員会事務局生涯学習係
〒964-0984

第3回浪江町「絆づくり」パークゴルフ
交流会開催

パークゴルフで元氣を取り戻し、交流を深めましょう。

▽日時

8月17日(土) ※雨天決行

●受付 8時～

●開会式 8時45分～

●競技開始 9時～

▽場所

二本松市日山パークゴルフ場

▽参加資格

なみえパークゴルフ協会入会者および浪江町に在住していたパークゴルフ愛好者

▽参加人数

100名

※定員になり次第締め切ります。

▽参加費

1人 1、500円
(昼食・抽選含む)

▽競技方法

36ホールストロークプレー
(一部変更有)

●日山コース(9ホール2回)

●羽山コース(9ホール2回)

▽表彰

男女別に上位5位まで表彰

※上位3位まで同スコアの場合サドンデスプレーオフ以下

4・5位はカウントバックにて決定する。(日山↓羽山)

▽その他

1競技ルールに違反したときは失格とします。

2NPGA認定用具を使用すること。

3組合せは大会事務局で決定します。

4当日の万一の事故については、参加者対応とさせていただきます。

▽締切日 8月10日(土)

※申込み後の参加費は返金しませんので、不参加の場合は代理者の参加をお願いします。

※参加費は、当日徴収します。

▽主催

なみえパークゴルフ協会

▽共催

浪江町

▽後援

福島県パークゴルフ協会連合会、千枝スポーツ、(株)本間ゴルフ

申・問

なみえパークゴルフ協会
会長 長岡 惣一

TEL

〒960-8074

福島市西中央5-33-2

グランソレイユ西中央301号

TEL

090-2602-4696

申・問

なみえパークゴルフ協会
事務局 横山 開

TEL

〒960-8057

福島市笹木野字町東18-2

TEL

090-2279-6072

平成25年度
幼稚園就園奨励費
補助事業

町では、平成25年4月1日から幼稚園に入園されている方で、市町村民税の所得割課税額が211,200円以下の世帯に対し、補助金を交付します。

現在、避難先の自治体で補助金の申請をしていない方のみ対象となります。

該当する方はご連絡ください。

- ▷受付開始 9月
- ▷申請期限 10月末
- ▷支給時期 平成26年3月
- ▷補助内容

幼稚園入園料および授業料のみです。

- 途中入園の場合は、月割の額となります。
- 保護者が実際に支払った入園料と授業料の合計額が限度額を下回る場合は、当該支払い額を限度とします。
- 入園している幼稚園で、入園料と授業料の免除を受けている場合、補助金額は調整して交付します。

■兄・姉が幼稚園児の場合の補助金額 (単位：円)

区 分		第1子	第2子	第3子以降
公立幼稚園	生活保護法の規定による保護を受けている世帯	20,000	50,000	79,000
	当該年度に納付すべき市町村民税の所得割が非課税となる世帯	20,000	50,000	79,000
私立幼稚園	生活保護法の規定による保護を受けている世帯	229,200	268,000	308,000
	当該年度に納付すべき市町村民税の所得割が非課税となる世帯	199,200	253,000	308,000
	当該年度に納付すべき市町村民税の所得割課税額が77,100円以下となる世帯(年収約360万円)	115,200	211,000	308,000
	当該年度に納付すべき市町村民税の所得割課税額が211,200円以下となる世帯(年収約680万円)	62,200	185,000	308,000

■兄・姉が小学1～3年生の場合の補助金額 (単位：円)

区 分		第2子	第3子以降
公立幼稚園	生活保護法の規定による保護を受けている世帯	35,000	79,000
	当該年度に納付すべき市町村民税の所得割が非課税となる世帯	35,000	79,000
私立幼稚園	生活保護法の規定による保護を受けている世帯	249,000	308,000
	当該年度に納付すべき市町村民税の所得割が非課税となる世帯	226,000	308,000
	当該年度に納付すべき市町村民税の所得割課税額が77,100円となる世帯(年収約360万円)	163,000	308,000
	当該年度に納付すべき市町村民税の所得割課税額が211,200円となる世帯(年収約680万円)	114,000	308,000

問 教育委員会事務局学校教育係 Tel 0243-62-0301

「コスモス大玉会」 設立総会の開催

大玉村近隣に避難をしている浪江町民の皆さまと交流を図り、心身ともに健康で、楽しく生活することを目的として、「コスモス大玉会」を設立します。皆さまのご参加をお待ちしています。

＊事前申し込みが必要です。

▽日時

9月4日(水) 15時～18時

▽会場

アットホームおおたま1階
〒969-1302

安達郡大玉村玉井字前ヶ岳国有林7班に13小班

▽発起人

君島 勝見(室原)
今野 昭三(大堀)
渡部 俊夫(井手)
陶 絹子(小野田)
池田 進(津島)
佐野久美子(南津島上)
佐々木やす子(昼曽根)

▽申込締切日

8月10日(土)

●名簿作成のため、氏名・住所(避難元・避難先)・生年月日・連絡先を申込時に教えてください。

●総会終了後、懇親会(設立祝

賀会)を会費制にて予定しています。

▽君島 勝見

TEL 080-6019-2913

▽大玉村社会福祉協議会生活支援相談員(佐藤拓末)

TEL 0243-6812100

(平日9時～17時のみ)

「福島県借上げ住宅 特例措置」の 受付延長

平成25年9月までに入居可能な物件(福島県内の民間賃貸住宅)についても受付が可能となりました。

なお、借上げ住宅の住み替えについては、やむを得ない事情がある場合に限り1度のみ認められるものです。

※「やむを得ない事情とは」

福島県外の応急仮設住宅(民間借上げ住宅等を含む)から県内の応急仮設に住み替える場合や、就学、新規就労のため遠方から地元方向へ戻る住み替えの場合に限りです。
(住環境改善や世帯分離による場合は、原則認められません。)

国民健康保険に加入されている皆さまへ 8月1日に更新される受給者証等のご案内

■『高齢受給者証』の更新

70歳以上75歳未満の方には、新しい高齢受給者証を発送しました。
医療機関などを受診する際は、必ず受給者証を提示してください。期限の切れた受給者証は役場二本松事務所または各出張所までご返却いただくか、細かく裁断して破棄してください。

■『特定疾病療養受療証』の更新

厚生労働大臣が指定する特定疾病に該当し、すでに交付を受けている方に、新しい受療証を発送しました。
なお、新たに国民健康保険に加入された方で、厚生労働大臣が指定する特定疾病に該当される方は、手続きが必要ですのでお問い合わせください。

■『限度額適用・標準負担額減額認定証』の手続き

入院時食事療養費および入院時生活療養費の自己負担額については、免除の対象にはなりませんので、入院した際にはこれらをご負担いただくことになります。
この認定証は、住民税非課税世帯の方が入院した際に医療機関の窓口で提示することで自己負担額が減額

されます。この減額は、申請した月の初日までしか避けることができないため、早めに申請してください。
現在入院中の方やこれから入院する予定の方で、住民税非課税世帯の方は、郵送するか、役場二本松事務所または各出張所窓口で手続きしてください。

▷申請に必要なもの

- ①限度額適用・標準負担額減額認定申請書(窓口に備えてあります。ホームページからダウンロードもできます。)
- ②印鑑(スタンプ印は不可)
＊郵送の場合は、所定の箇所に押印してください。
- ③該当者の保険証および申請者の身分証明書
＊郵送の場合はコピーを添付してください。
- ④平成24年8月1日以降、90日以上入院されている方は、入院期間がわかる書類(領収書や入院証明書の写しなど)

▽健康保険課国保年金係 TEL 0243-62-0179

ここから下は広告です。

ミニカーでレース！！ スロットカークラブ福島

クラブ代表 泉沢 茂雄

福島県福島市飯坂町平野字原東24-1大石貸ビル2F
国道13号線沿い 東北自動車道 飯坂インターから3分
福島交通飯坂線 平野駅または医王寺駅から徒歩7分

090-7525-0376(携帯)
crj700ng@ezweb.ne.jp(携帯メール)
sendaiairport@yahoo.co.jp(PCメール)

開店時間など詳しくは「スロットカークラブ福島のブログ」で検索！

株式会社 末永石材工業

代表取締役 末永 一郎

二本松市七ツ段128 杉田農村仮設B-2-3
(浪江町赤字木字手七郎127-4)

TEL 080-1843-9129

「ふくしまの子どもたちを甲子園に」 プロジェクト

福島県の野球少年を、高校球児のあこがれの舞台「阪神甲子園球場」にご招待します。

18年前の阪神淡路大震災を経験した西宮青年会議所と、浪江・南双葉・いわき青年会議所が、東日本大震災によって被害を受けた地域の子どもたちに夢や希望を持って自分の未来を切り開いてもらいたいという想いから共同で今回の事業を実施します。

参加費は無料です。

- ▷日程 10月13日 事前練習・保護者説明会
11月8日 21時福島出発、バスにて西宮市へ
11月9日 8時到着、阪神甲子園球場
(※軟式野球 練習および2チームに分かれて試合)
11月10日 8時30分、西宮市出発
- ▷対象者 東日本大震災以前に浪江町、双葉町、大熊町、葛尾村、富岡町、楮葉町、広野町、川内村、いわき市に住んでおり、野球をしている中学3年生の男女(当時小学6年生)。
- ▷定員 30名(内訳：ピッチャー4名、キャッチャー2名、内野手14名、外野手10名)
- ▷応募方法 所定の応募用紙と「僕(私)の夢」を題材とした作文(800～1200文字)を同封のうえ、事務局まで郵送してください。
- ▷応募期間 8月20日まで(※消印有効)

資料請求・▽▽事務局 公益社団法人いわき青年会議所

〒970-8026 いわき市平字才樋小路18-8

TEL 0246-24-0780 (平日10時30分～15時30分)

FAX 0246-25-7110 E-mail info@iwaki-jc.com

赤十字復興支援事業「元気あっぷライブ」開催 12人のヴァイオリニスト+落語

日本赤十字社福島県支部では、復興支援事業として「元気あっぷライブ」を開催します。

1,700名様を無料ご招待します。

- ▷日時 9月8日(日) 14時開会
- ▷会場 福島県文化センター 大ホール(福島市春日町5-54)
- ▷出演 ●「12人のヴァイオリニスト」
高嶋ちさ子プロデュースによるヴァイオリンユニット。
●「桂 福丸」
平成19年2月に桂福團治(4代目)に入門。平成23年第一回繁昌亭ドリームジャンボコンテスト小枝杯7Rチャンピオン。

- ▷応募方法 ハガキまたはFAXで次の必要事項を記載のうえ、お申し込みください。
- ①9月8日ライブ希望 ④年齢
②郵便番号・住所 ⑤電話番号
③氏名(フリガナ) ⑥希望人数(お一人2名様まで)
- ▷応募締切日 8月21日(水) ※消印有効
- ▷入場券の発送 8月28日に当選ハガキ(入場券兼用)を発送します。
※応募多数の場合は抽選になります。
※落選の通知はしませんのでご了承ください。

▽▽日本赤十字社福島県支部

〒960-1197 福島市永井川字北原田17

TEL 024-545-7996 FAX 024-545-7923

文部科学省委託 「ニューエルダー」 元氣塾

公益財団法人日本レクリエーション協会とNPO法人福島県レクリエーション協会は、文部科学省から委託を受けて実施する中高年のための体力づくり事業「ニューエルダー元氣塾」を、

浪江町民に向けて開催します。

参加費は無料です。

▽日時

8月31日(土)、10月12日(土)、
11月4日(月・祝)、11月30日(土)
9時から12時

▽場所

二本松市安達運動場仮設住宅
協体育館

▽内容

●「納得!加齢がもたらすカ

ラダの変化」

●「こうすれば高まるあなたの体力」

●「元氣をつくる食のあり方」
●「これから始めるスマートフォンスポーツ」など

▽▽NPO法人福島県レクリエーション協会
TEL 024-544-1886

地デジチューナー などの支援のご案内

東京電力福島第一原発事故により、避難指示解除準備区域などの規制区域の設定を受けた地域のお住まいに、帰還(一時帰宅を含む)される世帯は、地デジチューナー(1台)の無償給付、アンテナ改修経費などの支

援を受けることができます。
詳しくはお問い合わせください。

▽総務省地デジチューナー支援実施センター

(平日9時～17時)

TEL 0570-034-037
URL http://www.chidejishien.jp/

浪江の こころ通信

・第26号・

平成23年3月11日に発生した東日本大震災、そして福島第一原子力発電所の事故により、福島県内外に分散避難した浪江町民。長期化する避難生活、先の見えない不安の中で、町民の皆さんがどのような思いで生活し、ふるさとへの思いを抱いているのか。

こうした町民の思いをつなげるために、“浪江のこころプロジェクト”が立ち上げられました。一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアム(※)が中心となり、全国各地のNPO、大学等の皆さんが取材を進め、浪江町との連携のもと「浪江のこころ通信」が編集・発行されます。

浪江のこころプロジェクトは、分散避難している町民の皆さんの声を「浪江のこころ通信」を通してお届けし、ふるさと浪江町がかつての暮らしを取り戻すことへの願いとこたわりを発信・共有しようとするものです。

※一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアムは、東北圏(7県)の地域コミュニティ再生や協働のまちづくりの推進を目的として、大学、NPO、企業、経済団体、行政等が連携したコミュニティ支援ネットワーク。仙台が本拠地。

再取材シリーズ

再会・浪江のこころ

これまで取材を受けていただいた皆さんに、再度の取材を行うコーナーです。

3・11から2年以上が経過した今、感じていること、伝えたいこと、そして最初の取材以降の気持ちの変化やふるさとへの思いなど皆さんの声をお届けします。

「浪江のこころ通信／第26号」への感想をお寄せください。

【連絡先】〒964-0984 福島県二本松市北トロミ573番地
「浪江のこころ通信」宛
FAX.0243-22-4218



8月の休館日

5日(月) 12日(月) 18日(日) 19日(月) 26日(月)

浪江 in 福島ライブラリー きぼう
(仮設浪江図書館)

TEL・FAX 024-573-4295

〒960-0241 福島市笹谷字片目清水30-8

◆貸出冊数 1人5冊まで

◆利用時間 9時～17時

※お気軽にご利用ください。



みんなの
図書館

読んでみませんか



「歩けば歩くほど人は若返る」

三浦雄一郎/著

小学館2012

1932年青森県生まれ。プロスキーヤー、登山家の三浦氏が2013年、自

身3度目となるエベレスト登頂に成功した体力づくりとは。



「海賊とよばれた男」上・下

百田尚樹/著 講談社2012

第10回本屋大賞 第1位

異端の経営者、出光興産創業者の出光佐三氏をモデルにしたノンフィクション小説。石油を武器に変えて世界と闘った男の人生とは。



「あの日から起こったこと」

はるか書房2013

あの日医療の現場では何が起こっていたのか... 原発事故からどう脱出したのか... 西病院などの医療従事者へのインタビューと手記。「原発被害者で終わってはいけない」手塚クリニック院長(あとがきより)

◆町内立入りの際はご注意ください◆

自宅等家屋の電気の通電について

現在、自宅等家屋の清掃が行えないことにより、電化製品などのコンセントと電源の間にホコリが溜まっていたり、電化製品が倒れている可能性があります。

自宅等家屋に電気を通電させる際は、発火の原因となりますので、電化製品などのコンセントを電源から抜いて、ブレーカーを上げるようにお願いします。

*お帰りの際は、必ずブレーカーを下げるようにしてください。

お墓参り時の線香などの使用について

まもなくお盆時期という事もあり、お墓参りをされる方が増えると思いますが、現在、町内では水利の関係で消防署などによる消火活動を行う事が難しい状態です。

お墓参り時に火は取り扱わないようお願いします。



問 帰町準備室危機防災係 TEL 0240-34-0229



前田 賢人さん(川添)

取材者：くびき野NPOサポートセンター 榎本

取材日：7月6日

今の夢は、地元浪江で働くこと



現在は、新潟県柏崎市の社宅で母と2人暮らしの前田賢人さん。

慣れない土地で悩むこともあると思いますが、市内の高校に通いハンドボールの練習に励む毎日をごっています。将来の希望や、浪江への思いを語っていただきました。

部活の仲間達と
(左から2人目が前田さん)



■不安な日々
地震で、部屋の窓は全て無くなり、ブロック塀は根元から倒れ、瓦も道路や庭に散乱。それでも家族の無事を確認できた時の安心感は、今でも覚えています。

川俣南小学校の避難所へ行く時、人の多さにまともに休める状態ではありませんでした。食料も無く、その時を過ごすことが精一杯で、原発事故のことすら忘れるくらい必死でした。猪苗代へ行くと、「浪江町から」と言うだけで受け入れてもらえませんでした。なんで？という思いでいっぱいになりました。その後、他の避難所へ行きましたが、兄の知り合いがいる新潟県柏崎市へ行くことにしました。新潟県に入ると、1メートルはある雪の壁に驚き、不安になりました。

■今後について
慣れない土地での高校生活は、馴染むまで大変でした。友達もいなく寂しい時もありましたが、ハンドボール部に入部し、今では学校生活も楽しく過ごしています。ハンドボール部では、自らゴールキーパーに立候補し頑張っています。7月29日から佐賀県で開催されるインターハイにも出場。今はインターハイに

向けて、部活の仲間たちと練習に熱を入れる毎日です。部活をきっかけに、とても充実感のある高校生活を過ごしています。昨年の浪江の会に参加しました。友達に会えるかも！と期待を膨らませて行きましたが、誰も来ていなくてとても寂しかったです。浪江の友達と連絡が取れない状態です。この「浪江のこころ通信」を見て、自分が元気でいること、みんなが元気で暮らしていることが分かれれば嬉しい。昔のように地元で遊ぶことは出来なくても、また連絡を取り、みんなに会ってこれから話をたくさんしたいと思っています。

今、一番の願いは、高校卒業後は地元・浪江で働きたい！ということです。ですが、今の浪江は生活が出来る状態ではなく、いづれ戻れた時にも仕事があるのだろうか、という不安でいっぱい。それでも生まれ育った浪江が大好きです。



浦 喜一さん(加倉)

取材者：NPO法人市民公益活動パートナーズ 古山

取材日：7月5日

今は、とても落ち着いています



▲奥様の利子さんの作品を背景に

震災前はご夫婦でタイル工事を営んでいらっしゃいましたが、避難のため津島から郡山、埼玉、二本松、福島市と転々と移られ、ようやく2年前に福島市南矢野目の仮設住宅での暮らしを始められました。震災前や避難中は体調に大きな不安もありましたが、現在はお元気に自治会長として多くの支援活動団体を受け入れたり、役場などとの仕事に精力的に取り組んでいらっしゃいます。

■余震に脅えながらも、孫娘たちの安全が最優先でした
一昨年の大地震が起きた時は、近所に住む娘夫婦の家が新築中で少しずつ荷物を運んでいる最中で、その夜から新しい家に泊まりながら家を整えようという矢先でした。私たち夫婦が住む家は、余震が頻繁で恐ろしく、庭に車を停め、毛布を持ち込んで私たちと娘、孫3人とで一晩過ごしました。

15日には二本松でスクリーニング検査を受け、郡山に向かいました。ガソリンが無くなりかけていましたが、娘の勤務する会社が用意してくれたホテルバーデンに辿り着き、大変お世話になりました。特に、心臓の薬が僅かで不安な中、親身になってくださった看護師さんとの出会いに助けられました。

■自治会役員としての最大の悩みは「人集め」
最近では、福島に落ち着いてしまったような思いになることでもあります。2年前、ここに越して来た時には知っている人は1割もいませんでした。約190世帯のうち、70歳以上の方が大半で、一人暮らしは約3割です。

私は2012年から2代目の自治会長になり、役場などのさまざまなやり取りや団地内のいろいろな困り事がありました。が、これまでのルールを引き継ぎながら解決してきました。そんな中で一番苦労する仕事は、大勢の支援活動団体の方が来られてさまざまな活動をしてくださる際に住民へ声をかけ、1人でも多くの参加者を募ることです。今後立場が変わっても、自治会のお手伝いを続けていきたいと思っています。



長竹 麻弘くん(川添)

取材者：高崎経済大学櫻井研究室 櫻井
取材日：7月12日

失ったものよりも得たものの方が多いと信じたい —幼いころからの夢に向かって これからも頑張っていく—

『浪江のこころ通信』第1号に掲載された長竹麻弘くんは、現在、群馬県伊勢崎市立東中学校2年生。浪江にいた頃から続けている剣道、そして書道に今も頑張っている。2年前の取材の時とは見違えるほど立派な青年になった麻弘くんは、お母さんを支えながら、自分の夢に向かって前向きに進んでいきたいという。



▲大好きなスーパーこまち号のポスターと麻弘君

今は中学校の剣道部に所属して、毎日、朝早くから夕方遅くまで、そして土日も練習に頑張っています。群馬の夏は暑いので大変ですが、レギュラーを目指しています。同じく浪江の頃から続けている習字も7段になり、群馬県のペン書道展では2年連続優秀賞を取りました。そして高校受験も近づいてきています。僕は、鉄道関係を専門とする運輸科のある東京の高校に進学したいと思っています。これは浪江の保育園の頃から夢だったし、

今も変わっていません。去年の2月にあった猪苗代での浪江小の卒業式以来、もう浪江の友達には会っていませんでしたが、今年の6月、浪江小の時のランドセルが送られてきました。その中には請戸川のゴミ拾いをした時の作文がそのまま入っていました。あの頃をとて懐かしく思い出すことができました。本当にうれしかったです。群馬では、福島のことをニュースなどで伝えることが少ないし、ふだんの家族の会話の中からも

少しずつ福島の話題が減ってしまっているのですが、たまに福島や浪江のことがテレビに映ると、やっぱり浪江に帰りたいという思いが心のなかで高まってきます。でも、犬の散歩で母さんが近所の人と立ち話をしていたり、僕も全国一斉テストで自分の学校名を県名から記入したりすると、自分が群馬に暮らしていること、そしてこの生活に慣れきていていることをあらためて感じます。大震災によって、浪江町を離れることになったり、友達にも会えなくなったり、失ったものがたくさんありました。ただど一生懸命頑張っている今の自分があるのは、震災からのいろいろな経験があったからこそだと思っています。お母さんも今年から介護の仕事に毎日頑張っています。どんなに疲れていても、毎日忙しくしているお母さんを見てみると安心します。これからもそんなお母さんと支えあって、頑張りがあって、自分の目標に向かって進んでいきます。



近藤 都さん(川添)

取材者：3・11支援チーム リゅうのしっぽ 三井・加藤
取材日：7月10日

京都そして茨城県での新しいスタートへ

浪江町で念願の手作り雑貨や大好きなカントリー雑貨の自宅ショップを開いていた近藤さんご家族。

息子さん2人と愛犬・アップルちゃんと都さんご家族は大震災後、住み慣れた浪江町から京都へ避難されました。そして先月、茨城県牛久市に転居されました。



浪江中学校のそばにある自宅の一角で、4年前から「Vanilla Box」という手作りとカントリー雑貨のお店をしていました。3月11日、突然の大震災。何度起きる余震で家の中は足の踏み場もないくらいにメチャクチャになり、手がつけられないほどでした。そうしているうちにバトカーからの「避難してください」という誘導があり、2人の息子達と愛犬・アップルとともに車に乗り込み避難しました。猪苗代湖、栃木県那須、群馬県、静岡県と転々となりました。

京都の姉の家へと車で1週間ほどかけて避難しました。狭い車の中で息子達とアップルと一緒に寄り添って寝ていました。車の中は窮屈で大変でした。姉の家に1週間ほどお世話になり、団地に入居しましたがペットが飼えないところなので姪にしばらくアップルを預けていました。ある日突然行方不明になり、後日、警察署に保護され、無事、家族の元へ帰ってきました。その後、京都でペットOKの物件が見つかり一緒に暮らす事が出来ました。最初の頃は何もする気が起きず、ボーッとしている日が続きました。これでは自分がダメになる気がして少しずつ「また何かを作りたい。」と思い、コッソリ小物を作り溜め、ちょうど京都市左京区の百万遍知恩寺境内で「手づくり市」を知り、数回、出店する事が出来ました。京都には有名な観光地でもあるので、福島のお友達が避難先より遊びに来てくれてお互い他愛もないおしゃべりをするのが何

よりも嬉しく元気が出ました。茨城県牛久市に6月下旬に引っ越しをしました。兄達も近くになったから遊びに来てくれると言っています。茨城県に引っ越しして来てから声を掛けてくれたり、ご近所の方がお野菜を持って来て下さったりと嬉しい事がありました。福島県から避難されている方の交流の場には参加していきたいと思います。いつになるかは分かりませんがもう一度お店を始めたいと思っています。どこに住んでいても浪江は私の「ふるさと」です。いつも心の中でそう思っています。

連絡先一覧

■浪江町役場二本松事務所

〒964-0984
二本松市北トロミ573番地
TEL 0243-62-0123 FAX 0243-22-4261

■復興再生事務所

〒975-0039
南相馬市原町区青葉町2-62-2
(前南相馬出張所)
TEL 0244-23-1112 FAX 0244-23-1114

■福島出張所

〒960-8601
福島市五老内町3番1号
(福島市役所9階西側)
TEL 024-535-0750 FAX 024-535-0753

■本宮出張所

〒969-1203
本宮市白岩字堤崎494番地22
(本宮市役所白沢総合支所1階)
TEL 0243-44-1185・1186
FAX 0243-44-1187

■桑折出張所

〒969-1611
桑折町字東大隅18番地
(桑折町役場2階)
TEL 024-582-2130 FAX 024-582-2135

■いわき出張所

〒970-8026
いわき市平字堂根町1番地の4
(いわき市文化センター2階第4会議室)
TEL 0246-24-0020 FAX 0246-24-0026

■浪江町議会事務局

〒964-0984
二本松市北トロミ573番地
TEL 0243-62-0196 FAX 0243-22-4231

■浪江町教育委員会

〒964-0984
二本松市北トロミ573番地
TEL 0243-62-0301 FAX 0243-22-4223

■浪江町社会福祉協議会

〒964-0904
二本松市郭内一丁目81
(浪江町役場二本松第二事務所内)
TEL 0243-62-0877 FAX 0243-23-7970

■仮設津島診療所

〒969-1404
二本松市油井字長谷堂230番地
TEL 0243-24-1431

ここから下は広告です。

・クレーン作業
・工事車両リース・レンタル
・トレーラー・トラック運送
・一般貨物自動車運送事業



株式会社 伊達重機
【いわき営業所】〒970-8003
福島県いわき市平下平窪字味噌農2-2
TEL 0246-88-1812 / FAX 0246-88-1813
【楢葉営業所】〒979-0606
福島県双葉郡楢葉町上繁岡字小六郎87-14
TEL 0240-25-8753 / FAX 0240-25-8783
【本社】〒979-1504
福島県双葉郡浪江町大字酒田字上原18-7




客室のご案内 (全53室)
タイプ (朝食付き) お一部屋ご宿泊代
シングルルーム 5,400円
ダブルルーム 7,500円
ツインルーム 9,000円
◇ 専用駐車場有 (有料)
◇ 禁煙ルーム有
◇ チェックイン15:00 / チェックアウト10:00
主要アクセス
JR常磐線/高速バス いわき駅南口より徒歩3分

HOTEL なみえ
〒970-8026 福島県いわき市平字南町63-1
TEL 0246-24-2555 FAX 0246-22-0512